

# 上市地区地域づくり計画



奈良県吉野町  
上市笑転会（上市地区自治協議会）



## 目次

1. 吉野町上市地区の概要 .....	2
(1) 奈良県吉野町の概要 .....	2
(2) 上市地区の概要 .....	4
2. 上市地区の課題や問題点 .....	5
3. 上市笑転会（上市地区自治協議会）について .....	5
(1) これまでの経緯 .....	5
(2) 組織体制 .....	6
4. 基本計画 .....	7
(1) 計画の趣旨と基本目標 .....	7
(2) 計画の期間 .....	9
(3) 個別の目標と基本計画 .....	9
(4) 上市地区地域づくり計画 .....	12

# 1. 吉野町上市地区の概要

## (1) 奈良県吉野町の概要

奈良県吉野町は奈良県の中央部にあり、奈良盆地の南側で紀伊山地の北部に位置しています。そのため、紀伊山地の北側の入口になっており、世界遺産にも登録された修験道の霊場として古くから栄えてきました。近年では、吉野川流域で飛鳥時代の離宮と考えられる宮滝遺跡が確認されて、長い歴史のある町でもあります。また、町の中央部を吉野川が東西に流れ、その南には桜の名所として知られる吉野山があり、毎年、多くの観光客で賑わいます。そして、そうした自然がはぐくんだ吉野の木は、吉野杉・吉野桧としてブランド材として有名で、林業やそれに関連した産業も盛んで、地域の生業を支えてきました。

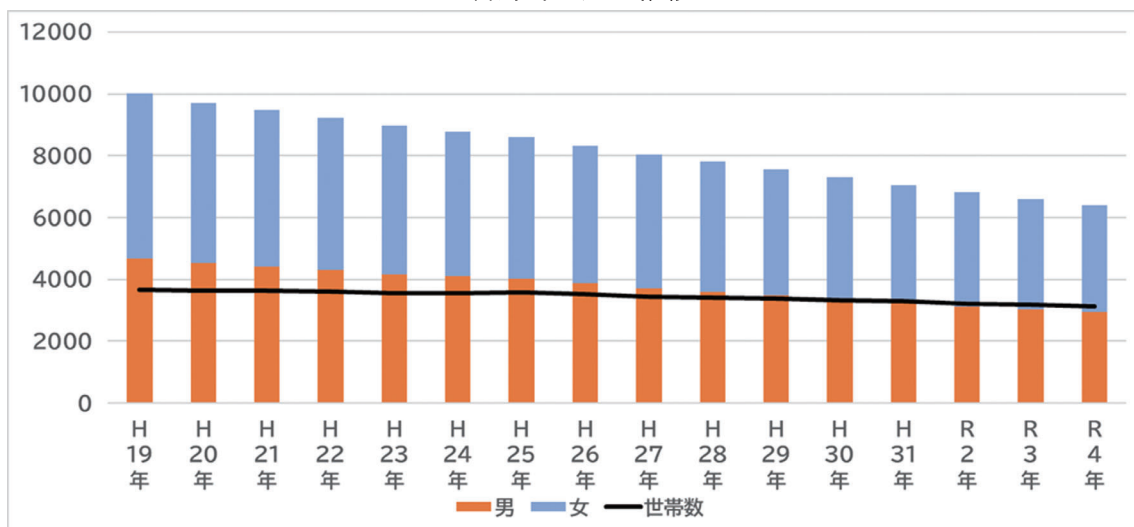


※吉野町ホームページより

吉野町の現在の人口は、約 6400 人（令和 4 年 3 月末）で、平成 19 年約 1 万人だった時から比べて 15 年で 35%減少しています。さらに、令和 22 年には約 3000 人に減るという推計もあります※1。また、65 歳以上人口が 50%の一方で、15 歳以下人口は約 6%と少子化も著しい状況です。

※1・・・日本創生会議「全国市区町村別「20～39 歳女性」の将来推計人口」平成 26 年

吉野町の人口推移

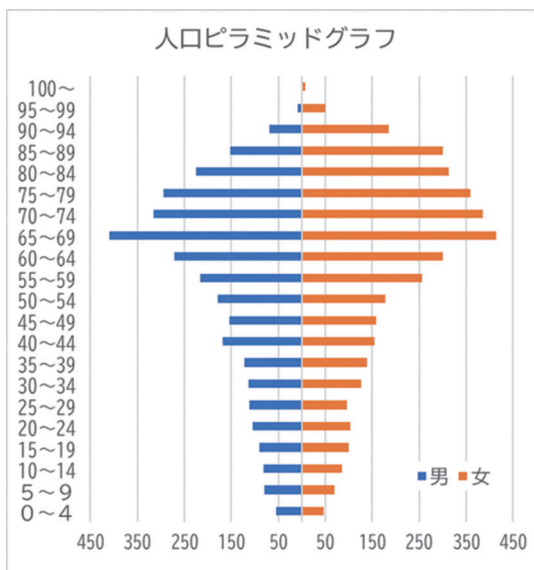


※吉野町住民基本台帳各年

吉野町の年齢別人口構成（平成 31 年 3 月 31 日）

年齢	男	女	合計	年齢	男	女	合計
0～4	54	47	101	55～59	217	256	473
5～9	79	70	149	60～64	271	300	571
10～14	82	86	168	65～69	410	414	824
15～19	90	100	190	70～74	315	385	700
20～24	105	103	208	75～79	295	359	654
25～29	111	96	207	80～84	225	312	537
30～34	114	126	240	85～89	153	301	454
35～39	122	139	261	90～94	69	184	253
40～44	169	154	323	95～99	9	50	59
45～49	155	159	314	100～	1	8	9
50～54	179	178	357	合計	3,225	3,827	7,052

	人口	構成比
15歳以下人口	418	5.9%
生産年齢人口	3144	44.6%
65歳以上人口	3490	49.5%



※吉野町「統計データからみた吉野町のすがた」（令和元年）

吉野町の産業構造は、建設業・製造業の第二次産業の変化がみられない中で、農業・林業の第一次産業は昭和 55 年の約 10%から平成 27 年の 5%まで低下しています。一方で、サービス業などの第三次産業が約 10%増えており、産業構造の転換が進んでいます。日本全体の産業構造は、第一次産業が 3.5%、第二次産業が 23.6%、第三次産業が 72.9%であるので、第一次産業と第二次産業の比率が高い特徴があります※2。特に、林業の構成比が 1.7%（全国 0.1%）と高く、木材加工製造業と合わせて地場産業として根付いていることがわかります。

※2・・・平成 27 年国勢調査「就業状態等基本集計結果」

吉野町の産業別就業者数と比率（平成 27 年）

産業（中分類）	実数	比率	産業（中分類）	実数	比率
農業	107	3.2%	不動産業, 物品賃貸業	34	1.0%
林業	57	1.7%	学術研究, 専門・技術サービス業	73	2.2%
鉱業, 採石業, 砂利採取業	1	0.0%	宿泊業, 飲食サービス業	182	5.5%
建設業	278	8.4%	生活関連サービス業, 娯楽業	137	4.1%
製造業	816	24.6%	教育・学習支援業	138	4.2%
電気・ガス・熱供給・水道業	13	0.4%	医療, 福祉	348	10.5%
情報通信業	14	0.4%	複合サービス事業	58	1.7%
運輸業, 郵便業	97	2.9%	サービス業(他に分類されないもの)	231	7.0%
卸売業, 小売業	525	15.8%	公務	124	3.7%
金融業, 保険業	41	1.2%	分類不能の産業	44	1.3%
総数			総数	3,318	100%

※吉野町「統計データからみた吉野町のすがた」（令和元年）

吉野町の産業構造の推移

(人)

		S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27
実数	第一次産業	674	683	427	309	299	194	148	164
	第二次産業	2754	2533	2494	2156	1871	1560	1224	1095
	第三次産業	3835	3710	3403	3322	3070	2621	2300	2015
比率	第一次産業	9.3%	9.9%	6.8%	5.3%	5.7%	4.4%	4.0%	5.0%
	第二次産業	37.9%	36.6%	39.4%	37.3%	35.7%	35.7%	33.3%	33.4%
	第三次産業	52.8%	53.6%	53.8%	57.4%	58.6%	59.9%	62.6%	61.5%

※国勢調査（各年）

（２）上市地区の概要

上市地区は吉野町の西端に位置し、一部を除いて吉野川の川沿い北側にあります。地区の北側は山林になっており、山と川に挟まれた東西に長く、道路も川沿いに沿って通っています。江戸時代には、和歌山から伊勢までの伊勢南街道の宿場町として発展し、今でも古い町並みが残る往時の賑わいを感じさせています。また、室町時代より、上流から川を使って運ばれてきた材木がこの地区で引き上げられ、木材の市が開かれていました。現在は、近鉄吉野線の大和上市駅があり、町役場や銀行、スーパーが集まる吉野町の中心地として続いています。



上市地区は、西の上市（尾仁山、上ノ町、本町、横町、六軒町）※と東の立野（立野、轟）※の２つの大字から構成されています。この地区も人口減少が続いていますが、平成17年の1264人から令和2年の714人と、40%以上も減少しているので、吉野町全体の減少率よりも多くなっています。特に、吉野町の中心地であるはずの上市では938人から512人と、45%も減少しています。

※括弧内は小字

上市地区の人口推移

	H17		H22		H27		R2	
	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
上市	938	341	774	318	619	281	512	245
立野	326	116	273	107	240	99	202	86
総数	1264	457	1047	425	859	380	714	331

※国勢調査各年

上市地区の産業構造（産業別の就業者数の割合）は、第一次産業が2.4%、第二次産業が23.9%、第三次産業が73.7%と、中心地らしくおおむね全国の比率と同じとなっています。各大字別に見ると、立野では製造業の第二次産業の比率が高く、農林業である第一次産業が少ない傾向があります。一方で、上市はサービス業の第三次産業との割合が高く、比較的第一次産業の割合も高い状況になっています。

上市地区の産業構造（平成27年）

	第一次産業	第二次産業	第三次産業
上市	3.1%	21.0%	76.0%
立野	0.9%	30.7%	68.4%
上市地区	2.4%	23.9%	73.7%

※平成27年国勢調査

個別の産業では、林業に従事している人が多く、また上市に集中していることがわかります。その上市では、町の中心地として卸売・小売や金融、不動産、専門技術サービスなどが比較的多いことがわかります。

上市地区の産業別就業者数（平成27年）

	総数	農業	林業	建設業	製造業	運輸・郵便	卸売・小売	金融・保険	不動産 物品賃貸
上市	262	3	5	19	36	6	60	2	3
立野	114	1	-	4	31	2	24	-	1
上市地区	376	4	5	23	67	8	84	2	4

	学術研究 専門技術 サービス	宿泊・飲食 サービス	生活関連 サービス 娯楽	教育 学習支援	医療福祉	複合 サービス	その他 サービス	公務	その他
上市	10	13	20	16	31	2	21	13	2
立野	2	3	13	5	15	1	6	4	2
上市地区	12	16	33	21	46	3	27	17	4

※平成27年国勢調査

## 2. 上市地区の課題や問題点

上市地区は、これまでまちの中心地として発展してきたものの、その歴史の長さから狭い道幅や古い民家などの、歴史ならではの問題があります。また、北側の山林では、斜面にかつてあった畑が耕作放棄地となっている部分があります。

## 3. 上市笑転会(上市地区自治協議会)について

### (1) これまでの経緯

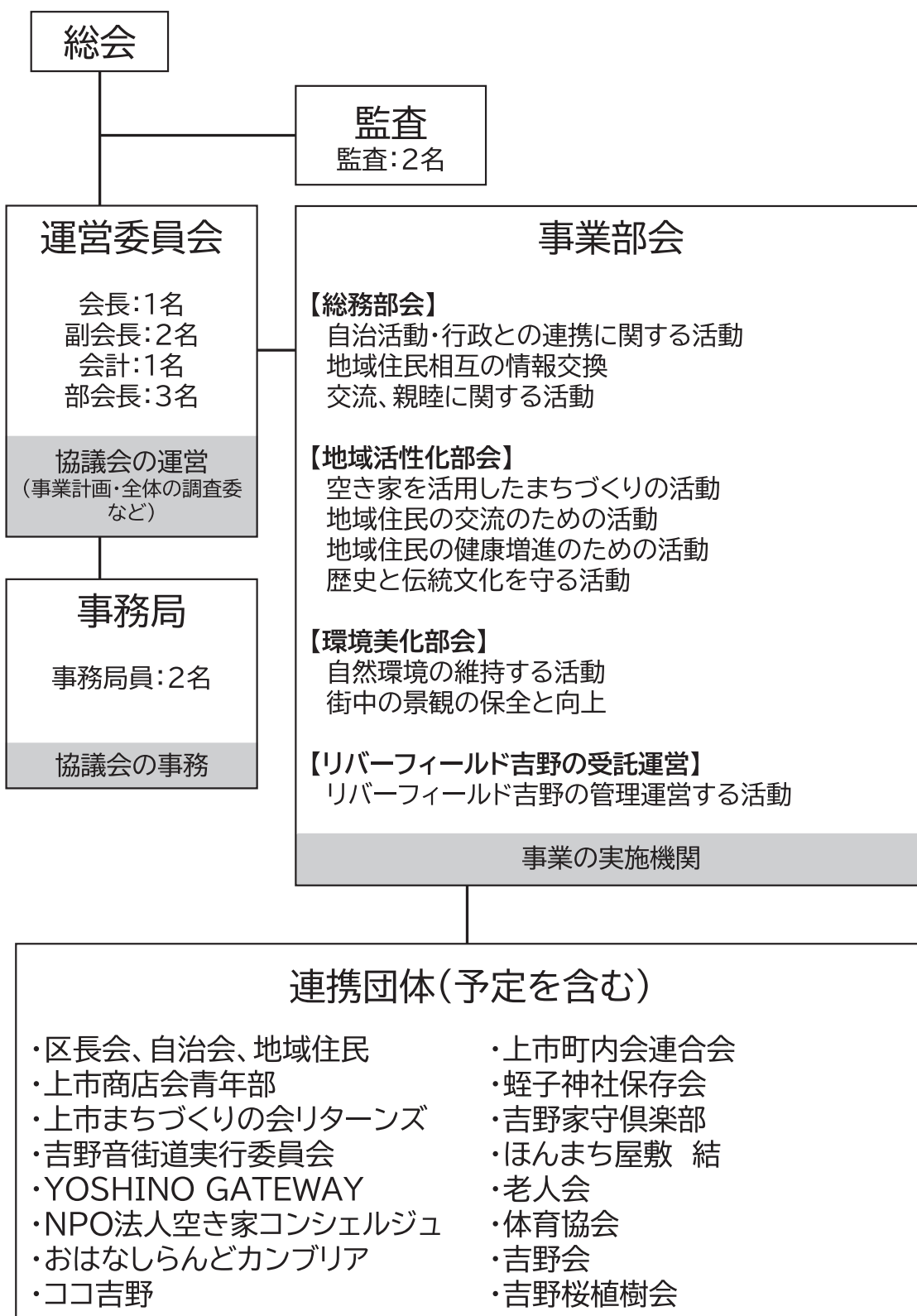
平成28年 「上市みらい会議 え〜びす」 発足

平成29年 上市笑転会（上市地区自治協議会）発足

令和3年 コミュニティ施設「笑屋」オープン

## (2) 組織体制

・組織図





## 4. 基本計画

### (1) 計画の趣旨と基本目標

地域づくりをすすめるために、以下のような活動方針にしたがって、個々の目標と具体的な計画を設定します。

これまでのワークショップなどの意見を集約し、以下の基本目標を掲げます。

#### 基本目標

#### ● 上市地区のまちづくりのキャッチフレーズ

- ・ 未来につながる彩と笑顔あふれるまち
- ・ 歴史と彩が紡ぐ情緒あふれるまち
- ・ 伝統を受け継ぎ、彩とひとのにぎわいがあふれるまち

#### ① 地域のひとが、笑顔で楽しく暮らしやすいまち

(a) 上市地区には、近鉄吉野線の大和上市駅や銀行、郵便局、スーパー、コンビニエンスストアなど、生活に必要な施設がコンパクトに集約された街です。この環境を守るために、地域ぐるみで活用と連携を行います。



上市駅前

(b) 川と山に挟まれた自然豊かな環境を守るため、環境美化活動等を継続的にを行います。

(c) 地域の方が笑顔で元気に暮らすことができるように、健康増進の活動を行います。

(d) 地域外からの移住者に対して、地域ぐるみで受け入れの環境・機運を高めます。



地元交流施設「六軒や」にて交流会

#### ② ひととひとが交流し、にぎわいのあるまち

(a) 上市地区には様々な商業施設やゲストハウスや飲食店などがあるので、こうした施設を利用しながら、住民と地域外からの人との交流を活発化し地域の活性化を進めます。

③歴史と伝統を未来につなぐまち

(a) 上市地区では、初市や灯籠流しなどの伝統行事が受け継がれてきました。

これらの行事を未来につなぐために、地域ぐるみで活動を行います。



初市の行われる蛭子神社



初市の賑わい(今昔)



灯籠流し



地元の子ども達により制作された灯籠



丸ビルの名称で親しまれていたビルは令和4年コワーキングスペース「YOSHINO GATEWAY」として生まれ変わりました

## (2)計画の期間

この計画は、令和4年度から令和9年度までの5年間の計画とします。また、新たな地域課題の発生や計画の進捗状況について、3年後の令和7年度に見直しを行います。また、地域や社会の状況に応じて、その都度見直しを行うことがあります。

## (3)個別の目標と基本計画

### 【総務部会】

<目標>

- ① 自治協議会の活動を地域内外へ発信する。

<計画>

- ①毎年、月に1回の頻度で、自治協議会の活動についてSNS等を利用して周知する。



### 【地域活性化部会】

<目標>

- ① 空き家の現状を把握し、自治協議会での対策を検討する。
- ② 現状の空き家を利用して、地域の外にむけて上市地区の住みやすさを情報発信する。
- ③ 地域住民同士の交流ができる場所をつくる。
- ④ 地域住民の健康維持のための活動を実施する。
- ⑤ 笑屋の管理運営とその活用方法を検討する



旧酒屋の店舗を改修し、無人休憩所として生まれ変わった「笑屋」

<計画>

- ①(a)令和9年度までに、空き家対策について自治協議会で可能な活動を検討し、具体的なサポート体制の構築について検討する。  
(b)令和9年度までに、空き家の現状調査の検討を行い、住民に周知する。
- ②令和9年度までに、空き家の利活用をPRするイベントを実施する。令和4年度は、前年に引き続き「吉野♪音♪街道」(よしのおとかいどう)を実施する。
- ③令和9年度までに、年に2回の頻度で、地域住民の交流を促進するイベントを実施する。令和4年度は、花火と灯籠流し(7月)と初市(2月)を実施する。

④毎年、月に1回の頻度で、住民の健康促進に繋がるカルチャースクールを実施する。

令和4年度はピラティス教室を実施する。

⑤毎年、笑屋の管理運営方法を検討し、イベントなどで利用する。



住民の健康促進のための  
ピラティス教室を開催



地元の空き店舗を改築し休憩所としてリニューアルした「笑屋」オープニングセレモニー。地元企業と連携し自動販売機を設置。上市の活性化を図る。



吉野♪音♪街道の風景



【環境美化部会】

<目標>

- ① 上市地区の北側の山林にある耕作放棄地の環境整備をする。
- ② 街中の景観づくりのために街道沿いの各戸に設置したイルミネーションを点灯する。

住民の協力により灯された  
ツツジのイルミネーション



<計画>

- ① (a) 毎年、年に1回の頻度で、30~50本のもみじを耕作放棄地に植樹する。  
(b) 令和9年度までに、もみじの植樹に住民が参加の方法について検討する。  
(c) 令和9年度までに、耕作放棄地から吉野町みどりの村までの山林に遊歩道の整備を行う。  
(d) 令和4年度に、もみじの植樹活動の趣旨や住民の生活への効果を、SNSを使った広報活動で周知する。
- ② 日没後のイルミネーションの点灯を呼びかける。



有志の方々の協力により行われたもみじ植樹会。

【リバーフィールド吉野】

<目標>

- ① リバーフィールド吉野の管理と運営を受託する。

<計画>

- ①毎年、リバーフィールド吉野の運営の振り返りを実施し、令和6年度までリバーフィールド吉野の活性化の方針を定める。  
 ②河川の美化作業を行い、河川的环境保全に努めます。



(4) 上市地区地域づくり計画

取組内容	計画の期間			活動の主体			備考
	短期 1年	中期 3年	長期 5年	各部会	行政と協働	個人や グループ	
もみじの植樹			○	○			
もみじの植樹方法の検討			○	○			
遊歩道の整備			○	○			
もみじの植樹活動の広報	○			○			
イルミネーションの点灯呼びかけ	○			○			
空き家対策の検討			○		○		
空き家の現状把握			○	○			
空き家を利用したイベントの実施			○			○	
住民交流が可能なイベントの実施			○			○	
カルチャースクールの実施			○	○			
笑屋の管理運営と活用			○	○			
自治協議会の活動報告の広報			○	○			
リバーフィールド吉野の管理運営			○		○		

発行 上市笑転会

協力 阪南大学 櫻井 靖久ゼミ

令和4年9月